

虹を抱く処女（1948）

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 日本

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1948/11/16

公開情報 東宝

【解説】

八田尚之のオリジナル脚本を佐伯清が監督した。高峰秀子と上原謙が主演を務め、早坂文雄が音楽を担当した。

看護婦のあき子は、音楽家の日高に惹かれていた。しかし日高は結核を患っており、作曲の悩みや貧しい生活を抱えているため、あき子の想いに応えることができずにいた。ある日、あき子が勤める病院に三津田という男が現れる。彼は戦争中に病で倒れたとき、あき子に助けってもらったことがあった。それ以来、あき子を探していたのだと言う。三津田はあき子に結婚を申し込んできた。あき子はあまりのことに戸惑い悩む。三津田は会社社長の息子で健康な紳士だ。あき子の周囲の人間は三津田との結婚を勧めた。しかしあき子は、日高のことが忘れられずにいた。

【クレジット】

監督 佐伯清

製作 青柳信雄

脚本 八田尚之

撮影 小原譲治

美術 松山崇

音楽 早坂文雄

出演 高峰秀子

上原謙

若原雅夫

田中春男

宇野重吉

三村秀子